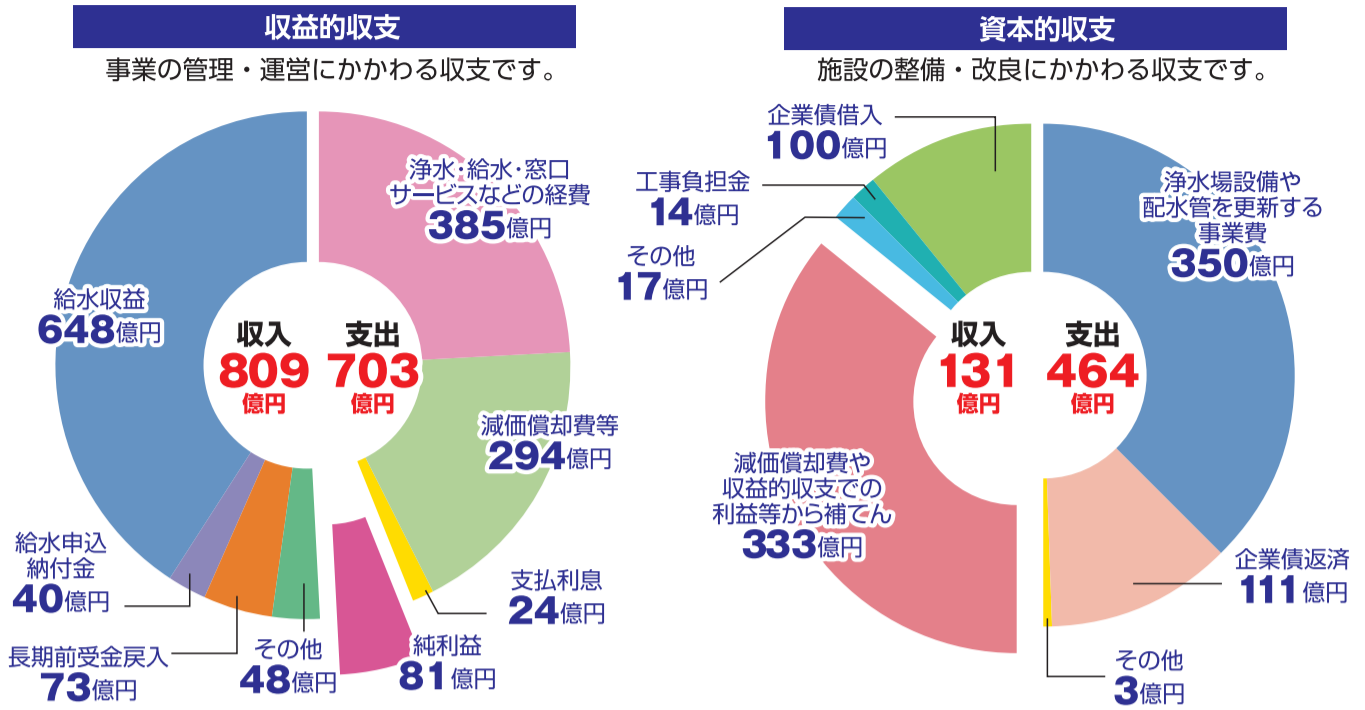


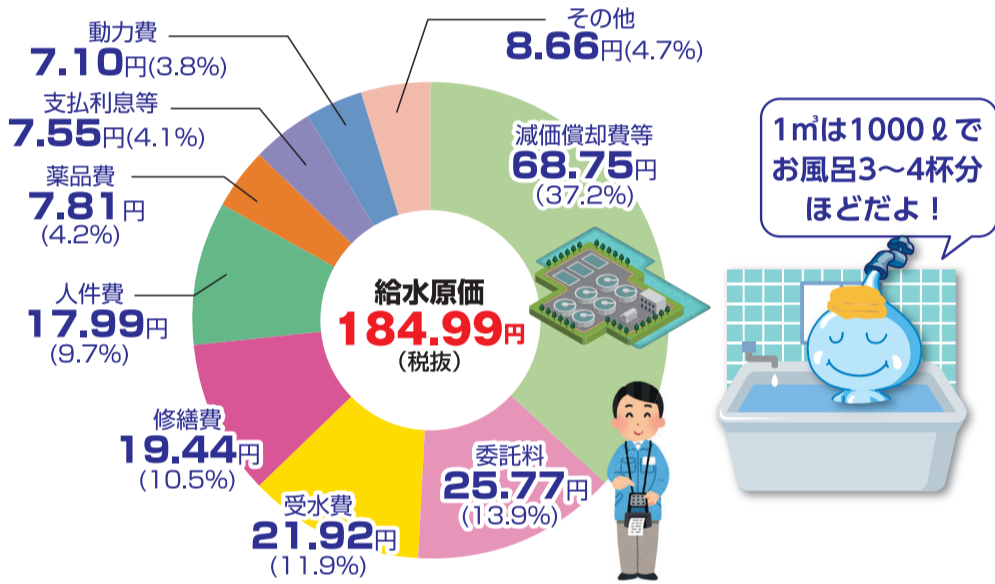
令和元年度 上水道事業決算の概要

千葉県企業局上水道事業の令和元年度決算の純利益は、約81億円となりました。

将来的には給水人口が減少に転ずると予想されるなど、給水収益の伸びを見込むことは困難な状況になってきている一方、老朽化した浄・給水場施設や水道管路の更新・整備に多額の建設事業費が必要となることから、一定の内部留保資金を確保しつつ、「中期経営計画(令和3年度～7年度)」等に沿って計画的に事業を実施し、健全な経営に努めてまいります。



水1m³のお届けに要した費用(令和元年度給水原価)



災害時や事故時の即応体制を強化しています

千葉県営水道では、不測の災害や事故に備えるため、様々なケースを想定して訓練を実施し、職員の災害対応能力の向上を図っています。

風水害に対しては、令和元年房総半島台風等の教訓を踏まえ、給水区域11市との合同訓練を実施し、迅速な情報共有や応急給水方法等の役割分担を確認するなど、連携強化を図っています。

このほかにも、今年予定されている東京オリンピック・パラリンピックに向け、同競技会場に送水している水道施設での事故を想定した訓練を実施しています。

さらに、首都直下地震を想定した全局的な総合訓練や、各所属で初動体制に重点をおいた訓練を実施し、災害時や事故時における即応体制を強化しています。



風水害に備えた給水区域11市との合同訓練 (松戸市)



オリンピック・パラリンピック開催時の事故を想定した訓練

具体的な災害対策については千葉県営水道ホームページからご覧いただけます。

千葉県営水道中期経営計画とは

「いつでも、安全でおいしい水を安定して供給し、お客様が安心して、信頼を寄せる水道」を基本理念に、平成28年度から令和2年度までの5年間で期間とした計画です。

基本理念の実現に向けて、以下の3つの基本目標を掲げ、施策や事業の計画的な推進に努めています。

1
「強靱」な
水道の構築



取替工事の様子

2
「安全」な
水の供給



水質検査の様子

3
お客様からの
「信頼」の
確保



イベント対応の様子

主な事業としては、ちば野菊の里浄水場(第2期)の施設整備、水道施設の耐震化、上下水道料金の徴収一元化などに取り組んでまいりました。ちば野菊の里浄水場の施設整備は、令和5年度の稼働を目指しています。水道施設の耐震化は湾岸埋立地域の管路を優先して実施しており、災害に備えるため今後も引き続き取り組んでまいります。また、令和3年1月から上下水道料金徴収一元化の対象市域を拡大するなど、今後もお客様のニーズを捉えた事業運営に取り組んでまいります。